

柿渋を塗った美濃和紙パロル製作ワークショップ

Xマス「パロル」で彩って

パロル作りを体験する子どもら。いずれも美濃加茂市の加茂農林高で



フィリピンの伝統的なクリスマス飾り「パロル」作りの体験会が二十一日、美濃加茂市の加茂農林高校であり、小学生から高齢者まで約二十五人が参加した。作品は十二月二十三〜二十五日に同市太田本町の太田宿中山道会館に飾られる。

(平井一敏)

比の伝統飾り 加茂農林高で手作り体験

美濃和紙や竹で和風に

パロルは星形の照明。市特産の高級干し柿「堂上蜂屋柿」の振興策を研究している同校食品科学科の生徒たちが、外国人が多い市の多文化共生もアピールしよう。竹の骨組みに、柿渋で染めた美濃和紙を張り、中に発光タイオード(LED)を入れる「和風パロル」作りを企画した。

竹製品を手掛ける白川町赤河の障害者授産施設「第一白竹の里」が骨組み作りを協力し、地元産の竹を使って百十個を用意。取り組むを広く知ってもらおうと、市民向けの体験会を初めて開き、研究グループの生徒十人が指導した。

スーパーグローバルハイスクール(SGH)活動の一環で、事前に作り方を習った関高校(関市)の生徒四人もスタッフとして参加。子どもたちは骨組みに接着剤で和紙を貼り、はさみなどで形を整えながら一



クリスマスに飾られるパロル

加茂農林高校 食品科学科 3年 ダルモマイケル君
坂本拓海君 服部愛也君 2年 林克之君 扇菌俊希君
1年 清水優晴君 新田晴希君 以上7名(プロジェクトメンバー)